

群手にた日
六三上
奴等の
下 兼て
コトは故
手には火
道うと
は迫り
佃答
血とと
而して
あるの
日曜日
かり
蓮華
庭辱

起つ所の欠

今も徹夜を勤めたり 向き就 信頼する同志
後世にてもおの願望も極まり余社 腐り手に依る 誠者
信倫等は何公認の 倫等も決して鬼香
捕らぬと云ふむね 身々の代熱も勤
切に 倫等も 眞面目に話
誠者も 倫等も

誠者も 倫等も